

鹿児島県・種子島 西之表市ふるさと（納税）応援寄附金



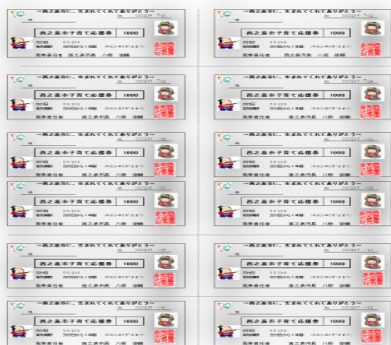
西之表市では、平成20年度に「西之表市ふるさと応援寄附金条例」を制定し、全国の皆様からご支援を頂いております。平成29年度にお寄せいただいた寄附金の総額は次のとおりです。

【総額 68,911,179 円 全 5,687 件】

（北海道 171 件、東北 156 件、関東・甲信越 2,854 件、北陸 49 件、東海 638 件、関西 1,127 件、中国 170 件、四国 98 件、九州・沖縄 424 件）

「西之表市ふるさと（納税）応援寄附金」は、次の事業の財源として活用させていただきます。ご支援ありがとうございました。

【 子育て応援券支給事業 】



○西之表市では、赤ちゃんの出生をお祝いするとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、出生時と満1歳時に、乳幼児の衣食に係る商品と交換することのできる1枚1,000円分の応援券を12枚（12,000円相当）支給しています。

平成29年度 支給件数 218件
利用枚数 2,532枚

【 放課後児童健全育成事業 】

○就労などにより、昼間保護者が家庭にいない小学校に就学している児童に対し、適切な遊びと生活の場として児童クラブを設置し、児童の健全な育成を図りました。

【西之表市児童クラブ一覧】

- ・榕城児童クラブ・若宮児童クラブ・めいろう児童クラブ
- ・古田っ子クラブ・住吉児童クラブ・国上児童クラブ
- ・風本児童クラブ



【 多世代交流・多機能型支援の拠点づくり事業 】



○子どもから高齢者まで、誰もが気軽に集い、必要な支援を受けることができるとともに、住民自らサービスを提供することができる多世代交流・多機能型の福祉拠点施設を活用し、行政の福祉サービスだけでは対応困難な地域課題や住民ニーズに対応した活動を地域住民自ら実践することにより、心豊かな共生・協働型の地域コミュニティの形成を図ることを目的とする事業。

○古田校区において「手と手をつなぐ結の里事業」とし、拠点となる場所の交流人口を増やすため、高齢者の生きがいづくりや、結の里サポーターによる高齢者の手助け訪問、子供たちとのふれあいの場づくり等、運営協議会を中心に活動。また、古田三大祭を充実して開催することにより、各種関係団体の連携を図り、災害時の高齢者避難等を視野に入れた今後の地域コミュニティを確立させることを目指し、事業を実施しました。

【 地域子育て支援センター事業 】

○子育て世帯の交流及び子育てに関する相談や子育て支援事業等に関する情報提供の拠点施設として、子育て支援センターを設置し、「交流」、「情報発信」、「相談」として、また、ファミリー・サポート・センター事業の預かりの場として、子育て世帯の負担軽減を図っています。



- (情報提供)・情報誌「にここ広場」発行
- (交流の場)・子育て広場(プレイルーム)解放
 - ・出張広場の開催(毎月1回)
- (相談)・子育て相談
- (療育支援)・親子で一緒に遊ぶ「コスモス教室」開催
 - ・「療育支援地域ネットワーク会議」(各関係機関との連携)
 - ・巡回相談、乳幼児健診の支援

【 長浜市少年スポーツ交流事業 】



○滋賀県長浜市と西之表市が友好都市盟約を結び、相互の交流を深めるため、青少年のスポーツ交流を通じて、信頼と友情を築き青少年の健全育成と両市の発展に役立てることを目的に昭和 63 年に始めました。



○この交流は、本市のスポーツ少年団員を隔年ごとに長浜市へ派遣しホームステイを通じてスポーツ交流を行い、次年度に長浜市の団員が、本年度派遣した団員宅にホームステイをします。長浜市ではスキー体験、本市ではマリンスポーツを主に体験、平成 29 年度は、長浜市スポーツ少年団員が本市を訪問し、第 30 回記念大会として開催しました。(マリンスポーツ・記念植樹等)

【 スポーツ交流合宿誘致事業 】

○2020 年に東京オリンピック及びかごしま国体が開催されることを契機に、本市のスポーツ競技力の向上と選手の発掘・育成を図ることを目的として、この事業を実施しました。

この合宿事業を通じて、島外の高校生・大学生等チームとのスポーツ交流を図り、交流人口の増加を促進することができました。

【 文化財保護事業 】

○ふるさとの宝である、貴重な文化財の保存、保護、整備、普及啓発に努めました。

(文化財説明看板作成 ふるさと歴史散歩「山田歌子」、種子島家墓地墓石説明板)
(文化財保護整備 住吉ガジュマル防潮林)



【種子島・西之表市いけばな展開催事業】

○国登録有形文化財建造物「旧上妻家住宅」にて、鹿児島県連合華道会 17 流派・西之表市内華道団体による、いけばな展 (27 作品) を開催し、武家屋敷と伝統文化いけばなが融合した独特の雰囲気をも多くの市民に感じていただきました。また、会期中には、いけばな体験教室も行われ大盛況でした。



- 会期 平成 29 年 11 月 25 日・26 日 観覧者 450 人
- いけばな体験教室 110 人)

【 ウミガメ保護事業 】



○鹿児島県ウミガメ保護条例によりウミガメの保護を図るため、保護監視員による上陸・産卵・盗掘等の調査を行いました。

【 ごみ減量化推進事業 】



○生ごみの減量化対策として、生ごみ堆肥化教室の開催、家庭用生ごみ処理機の設置者に対する補助、グループで発酵剤促進つくり等に取り組む団体への補助 (みんなで生ごみ活用事業) を行いました。

- ・生ごみ堆肥化教室…1 回
- ・家庭用生ごみ処理機器設置費補助金…23 件 (コンポスト 20 件、電動生ごみ処理機 3 件)
- ・みんなで生ごみ活用事業…4 グループ

【 イベントテント等購入事業 】

○イベントテント及び横幕を購入し、各種イベント等に活用しました。

※市ではイベントテントを保有しておらず、市商工会から借用して対応しているものの、そのテントも老朽化が目立ち、支障を来している状況であるため新規購入を行いました。

(購入内容)

- ・イベントテント(2間×4間)1式 6張
- ・横幕(2間×4間)1式 1張



【 産業間連携推進事業 】



○平成 27 年度に種子島地域産業推進協議会において各種団体等と連携し、種子島の地域ブランド統一を図ることを目的として作成した、種子島デザイン「たねがしまる」を利・活用し、東京都庁において種子島観光物産展を開催(約 3,000 人来場)するなど、商談会やイベント参加を行い、地域特産品の販路開拓及び PR 活動に取り組みました。

また、大学等をはじめとする学術の社会実装・フィールドワーク誘致、インターンシップ受入を行い、大学や関係者、地域住民等との連携強化による交流人口拡大・人材育成を目指した事業を推進しました。

【 特産品開発支援事業 】

○地元産農林水産物を利用した加工技術及び知識の習得向上による特産品開発の拠点づくりを行うため特産品開発センターきりを設置しており、地元農林水産物を利用した特産品の試作や試食会、食品表示に関するセミナー、食品簡易検査(検査6項目:一般生菌数、大腸菌群・水分活性・Bx・水分量・Ph)を実施し、島外への販路開拓を行う際の消費期限の設定や衛生面の遵守など製造業者への支援を行っています。



【 創業支援事業 】

○商工会や金融機関等と創業支援ネットワークを立ち上げ、創業支援計画に基づき創業希望者もしくは創業して5年未満の創業者を対象に創業に必要な財務・税務等の基礎的知識の習得やビジネスプランの作成支援を行う創業スクールを実施し、地域における創業者の支援を通して開業率の向上と地域の活性化及び雇用の確保を図りました。

・本年度創業者 3件

【 農作業受委託体制整備事業 】



○各地域における作業受託体制を整備し、各地域での集落営農体系の基礎づくりを行うため、さとうきび管理作業機(中耕培土機)を導入し、農作業受託作業者に貸し出しを行いました。

(購入内容)・さとうきび中耕培土機 1台

【 酪農スラリー堆肥化推進事業 】

○本市の酪農は、大規模農家が多いため、自己の土地還元だけでは、肥料として投入するスラリー(乳用牛由来の糞尿)が過剰投入になりやすく、有機物の循環がうまくいっていないのが現状です。本市基幹作物であるサトウキビの新植圃場を対象にスラリーを散布し、生育にどのような効果が表れるかを実証しました。



○平成 28 年度から継続して調査を続けていた実証ほ場2箇所の収量調査を行いました。また、バイオマス導入についての検証を行うため、専門業者に委託し、スラリー・刈草・生ごみでの連続ラボテストによるガスの発生量を把握する調査を行いました。

【 新規就農総合支援事業 】

○新規就農者を対象に青年等の就農意欲の喚起と就農後の定着を図り、青年就農者の拡大を図るための支援を行いました。

・新規就農定着促進事業

認定新規就農者に対し、1回のみ、農業経営に必要な機械・施設等の導入に対し、補助率1/2以内(上限50万円)を補助。

【花とみどりのまちづくり推進事業】



○「花を咲かそう西之表」景観づくり事業を展開し、景観づくりに取り組む地域や団体、里親等の活動支援をするため、花苗や種子、肥料の提供を行いました。

景観づくりを通して、地域活性につながり、花のある風景が増え、市民の方々から喜ばれました。

【敬老の日記念事業】

○西之表市在住の満 88 歳、満 100 歳、満 101 歳以上の高齢者の長寿を祝福するとともに、敬老の意を表し敬老金を支給しました。

(対象者)

- ・満 88 歳:9 月 30 日現在において満 88 歳である者
- ・満 100 歳:その年度において満 100 歳になる者
- ・満 101 歳以上:9 月 30 日現在において満 101 歳以上である者



【老人クラブ育成事業】



○高齢者の生きがいづくりや健康づくりを推進し、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上を目的に市老人クラブ連合会及び単位老人クラブに補助を行いました。

【高齢者はり・きゅう助成事業】

○本市に1年以上居住している後期高齢者医療被保険者を対象に、はり又はきゅうの施術料の一部を助成することにより、後期高齢者の健康保持と福祉の増進を図りました。

【 すこやか塾市民健康づくり事業 】



○市民一人一人が自己管理についての知識を深めるための各種普及啓発活動を実施し、健康維持及び増進を図るとともに医療費の適正化へつなげていく取組を行いました。

○市民の健康志向にマッチングさせ、地元の食材を活用した創作郷土料理を広

報誌で毎月紹介しました。女性向けの体操教室や 11/3 にちなんだ「いいお産の日」イベントとして妊産婦さん向けに語り場を設けるなど、健康事業に数多く取り組みました。



【 離島地域不妊治療支援事業 】

○不妊治療を受ける市民に対し、医療費及び交通費・宿泊費の一部を助成しました。

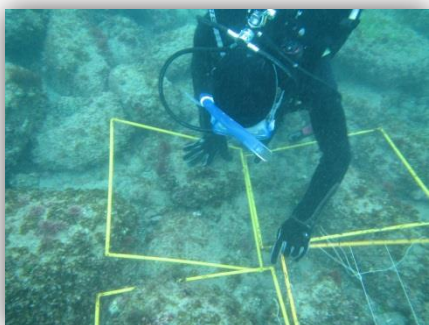
【内容】：不妊治療に要した費用から、鹿児島県不妊治療費助成事業により支給される額を控除として得た額に対し、1回あたり10万円を上限として助成する。また、その治療を受けたとき、鹿児島本土までの交通費・宿泊費総額の3分の2を助成する。ただし、交通費は1回の治療につき9回まで、宿泊費については1泊5,000円を上限とし、1回の治療につき15泊までとする。

【 援農隊マッチング支援事業 】

○農業者の高齢化が進行し（経営体の平均年齢は66.7歳、61.8%が65歳）、さらに農業後継者のいない農家は73.4%となっており、農業における新規就業者、担い手の確保・定着及び労力不足を補うための受託体制の拡大・充実が求められています。農業労働力の受託事業として、援農隊を運営しています。援農隊は、男性4人、女性2人の計6人で構成しており、仕事内容は機械作業以外の手作業の農作業です。



【水産資源生息生態調査事業】



○西之表市の特産品であるナガラメ資源は年々、減少しています。

ナガラメ資源の回復のため、鹿児島大学水産学部に委託し、資源量調査及び海底調査を行いました。

(調査内容)

・ナガラメ個体測定の実施

解禁時期に漁協に揚げられたナガラメの重量・体長・体高を計測。

ナガラメ個体の西之表・馬毛島比較及び地先比較調査

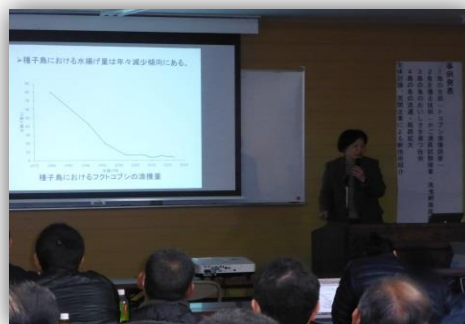
・海底調査の実施

西之表市周辺海域の5箇所にて調査を実施。画像測定調査(藻類の被度、底質状況)



・水産シンポジウムの開催

調査結果の報告及び水産に関する意見交換を実施する。



【姉妹都市・友好都市交流事業】



○本市と姉妹都市、友好都市盟約を締結する自治体、さらにこれまで交流を深めてきた自治体とは、例年相互に、まつりや物産展等への参加や物産展等を実施し、地域情報の発信に努めつつ、交流拡大の推進を図ってきました。

平成28年度は、大阪府堺市と友好都市盟約締結30周年を迎え、記念パンフの作成、植樹等を実施しました。平成29年度は滋賀県・

長浜市との友好都市盟約が30周年を迎えることから、同様に記念事業を実施、さらに、両市の文化の交流がさらに深められることを目的に新たなイベント等を開催しました。